

SARB J35F「ドラケン」

RIZCO 1/144スケール完成品トイ改造

製作・文：政府開発援助

1. SARB J35Fについて

サーブ J35「ドラケン」の原型機は1955年に完成している。時まさに東西の代表的なマッハ2級超音速戦闘機が誕生した頃であり(ロッキードF-104やミコヤンMiG-21等)、ドラケンはいかにこれらに比肩する性能を持った戦闘機であった。ドラケンの外観上最大の特徴であり後世に多大な影響を及ぼしたダブルデルタ翼は、有事の際に高速道路を滑走路として運用する目的から誕生したものである。

ドラケンはA~F型合わせて約600機が生産され、デンマーク・フィンランド・オーストリアでも使用されている。

2. モデルについて

恐らくABS樹脂製の塗装済み半完成モデル(脚柱・増槽等をランナーより切り離してはめ込む必要あり)です。このシリーズの特徴として機種毎に造り分けられた金属製のピトー管が付属しています。塗装は森林迷彩と砂漠迷彩の二種類がありますが、いずれも「エリア88」版のマーキングが再現されており、いわゆる国籍マーク等は付属していません。

3. 製作と塗装について

塗装を一旦剥がし、若干手を加えて本国仕様のJ35F型としています。いつもの如く全体に薄々攻撃を行った後、補助尾輪収納部のバルジの位置を前方に修正。F型の特徴である機首下部のRST先端をリベット部品に交換し、左主翼バルカン砲口は埋めています。更にキャノピー後方のインテーク状の小部品を追加しました。鳴り物入りのピトー管ですが、やや長過ぎると感じた為使用せず、0.5mmのステンレス線を使っています。尚、サイドワインダーはマイクロエースのウェポンセットのもので、パイロンはプラ板製です。

塗装は上面ミッドナイトブルー・下面ライトグレーFS36495を筆塗り(いずれもラッカー系)し、エナメル系のオリーブドラブで上面を塗り分け後にいつもの綿棒たたきで境界線をぼかしています。機体下面中央や増槽はラッカー系の銀、サイドワインダーは調合色(確か旧型ザク用)です。マーキングは「世界の傑作機」掲載写真の機体から20番をチョイス、T社1/100キットのデカールをスキャンして加工しMDプリンタで打ち出したものを使用しています。スミ入れは途中途中でガンダムマーカーで行っており、最後にクレオスのスーパークリア(半光沢)を吹きました。

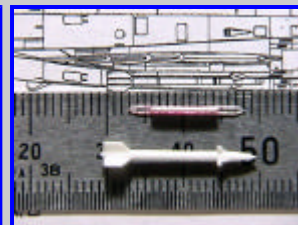
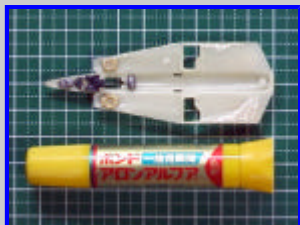


前面



後面

4. 製作過程



機首には尻餅防止用の釣り用オモリを接着。ついては素抜けのインテークを裏打ち。

キャノピー後方に追加したインテーク状小部品。後ろの小翼に薄々攻撃。

補助尾輪収納部のバルジは、型取り複製した物をやや前方にずらして接着。脚カバーにも薄々攻撃。

図面とサイドワインダーの部品からパイロンのサイズを割り出し、プラ板にて自作。